
OpenFOAM勉強会for beginner @関西

～運営についての素案～

幹事 富原 大介

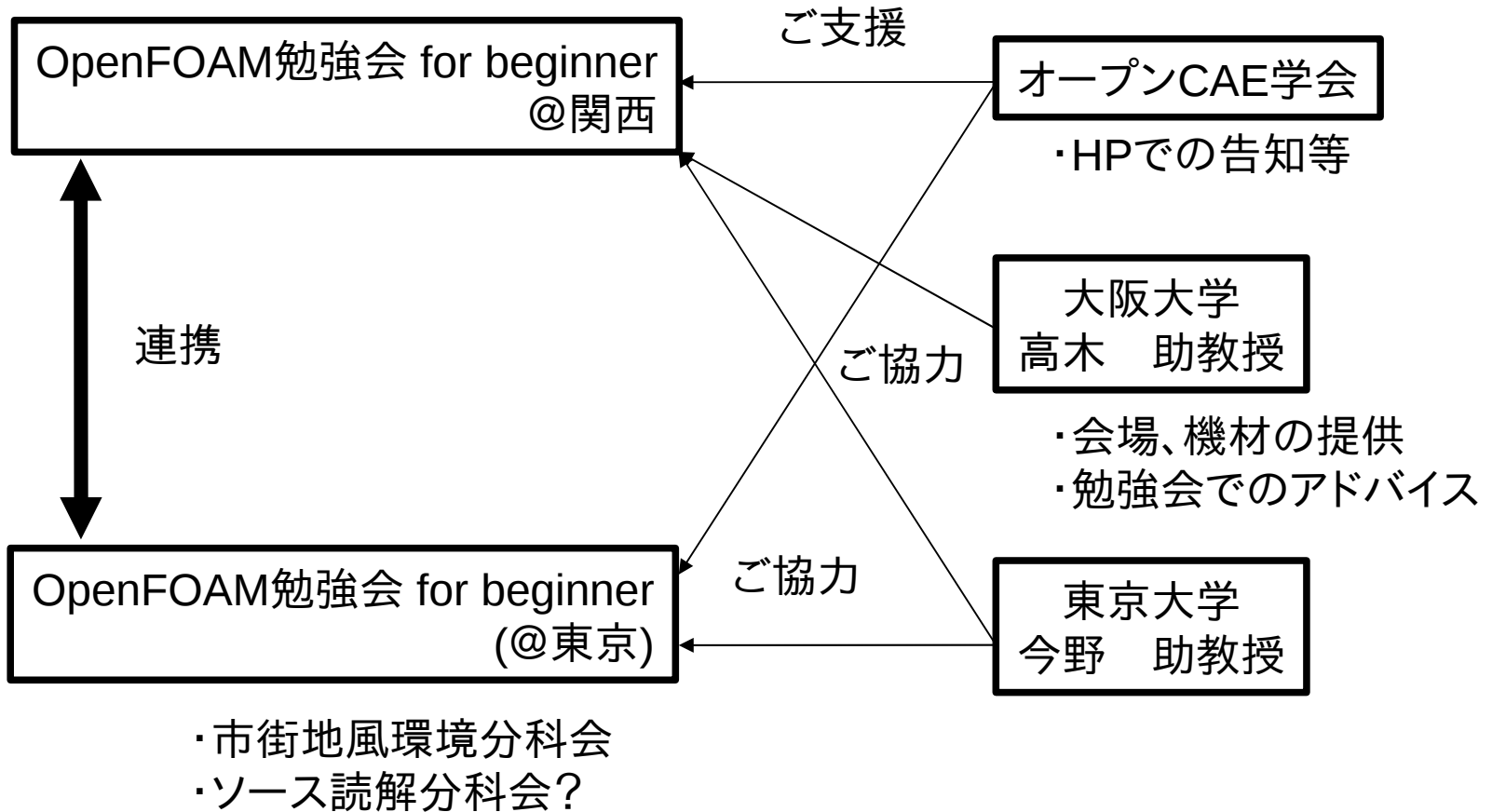
勉強会のコンセプト

- ・自ら実際にやってみることでOpenFOAMを理解する
- ・勉強会という場で発表、議論、質問をすることにより相互に理解を深める

勉強会の目的

- ① 各個人のOpenFOAMに対する疑問、問題点及びその解決策を共有する
→月一回の定例会で参加者が発表することで・・・
→解決策を参加者同士で議論することで・・・
- ② OpenFOAMの使用するにあたって想定される問題を協力して解決する
→問題点を提示し各自が1カ月の中で取り組むことで・・・
- ③ ①,②において得られたことを、データとして蓄積する→勉強会としてのデータ蓄積
→学会主催の初心者講習会や勉強会の講師ができるように・・・
→オープンCAE学会で発表する・・・

勉強会の組織 & 外部団体との関係



アドバイザー

高木 洋平 先生

大阪大学大学院基礎工学研究科

物質創成専攻化学工学領域岡野研究室 助教

今野 雅 先生(初回)

東京大学大学院工学系研究科

建築学専攻坂本研究室 助教

アドバイザーの先生方をお願いしたいこと

(目的①に関して)問題に対する意見、アドバイス

(目的②に関して)意見、アドバイス+問題提示

(ベンチマークや、次に何を調べたらよいかなどのアドバイス)

参加者に期待すること

- ①参加
- ②自己課題や、勉強会として取り組む問題の作業の分担、実施、そして勉強会での発表
- ③問題の提起、勉強会を一緒に運営していただくこと

そのために幹事として提供すること

- (1) 活動案などのアイデアの素案
- (2) 会としての活動に関しては、まず自分が
(あるいは自分を含むグループが) 取り組む

活動案

I 機械、電子を対象としたベンチマークの実施
毎回ベンチマークテーマを決めて各自が実施
結果比較及び問題点を共有化

II OpenFOAMの機能を使いこなす
毎回テーマを決めて各自がそのソルバーを使った解析を実施
チュートリアルを作成と解説書の作成
結果及び問題点を共有化

→学会としてソルバーの使い方やチュートリアルを体系的に整理することを目指す

III プログラムソースの分解と理解
毎回テーマを決めてソースを理解する
担当を決めてプログラムソースの解説書を作成、毎回進捗を報告する

→学会としてプログラムソースの解説書を体系的に整理することを目指す

勉強会を通して自分はどうなりたいのか

- ・OpenFOAMの理解
- ・CFDの理解

この勉強会をどうしたいのか

- ①継続
- ②積極的な参加者(参加の項②、特に③)を増やしていきたい
- ③常に「beggner」から「上級者」を目指す人の、
入り口としての役割を果たす場にしたい